

「町長と話そう、まち育て」タウンミーティング 第6回議事録要旨
(中原小学校 PTA)

日 時：令和5年8月30日18時00分～19時45分

場 所：みやき町庁舎・防災センター 1階 防災会議室

テーマ：・「通学路の危険個所についてのアンケート」結果報告について
・児童や保護者に関する保険制度の一元管理について

出席者：中原小学校 PTA 7名

岡町長、江頭副町長、学校教育課、総務課、防災安全課、事務局（総務課）

● 次第

1 開会

2 自己紹介

3 議題

(中原小学校 PTA A)

児童や保護者に関する保険制度の一元管理についてから始めたいと思います。新1年生の新生説明会で説明をしたいと思っていますので、引き続き、資料作成をしていただいて、皆さんに、分かりやすく提示できるような形で作っていただければと思います。

(岡町長)

保護者さんたちが求めてらっしゃるこの一元管理というのは、保険自体を1個にまとめるという意味の一元管理なのか、申込み等の受付の窓口が一つであればということなのかをお聞きします。

(中原小学校 PTA A)

例えば何かのときに事故が起きた、怪我をしたといったときに、どこの部署に言うのか。よく言われるのは、通学路で立っていただく保護者が事故にあったときに保険は効くのか、効かないのかというところです。みやき町町民活動保険の中身を見ると登校時の見守りが明示されていたので、保険は効くだろうということで認識をしております。加入者が1人であっても、全町民が入ったとしても金額は変わらないと聞いていますので、できれば全員入ってもらいたいというところで、昨年度、全ての子どもクラブの会長を通じて、全保護者さん入ってくださいとお願いしています。交通事故があったときの保険適応の有無は、区長さんを通じて青少年サポーターに登録しているかどうかということは、ほとんどの保護者は知らないと思います。何かあったときに、ただ名前を

書くか書かないかだけでも対応が変わるというのは違うと思います。これが周知されていないので、周知したいと思っています。

(岡町長)

その保険の内容など、皆さんが分かる資料があるか、もしくは、何かあったときに、保険のことはここに問い合わせれば大丈夫という窓口があるかのどちらかですか。

(中原小学校 PTA A)

そうです。周知の事実になるようにしていただければなと思っています。子どもクラブ、学校関係、登下校の見守り、PTA 活動などのところで、事故のときには、どこに相談したらいいのか、そういうところが分かるようにしてもらいたい。もちろん性質が違うので、そういうときの相談窓口が一つの部署になるというのは難しいと思いますが、どこに相談したらいいのか分かる資料や、どこにかに言ったら、担当課に振ってくれるというところが欲しいと思っています。

(岡町長)

理解しました。資料を精査してお渡しする、もしくは窓口みたいなのところができるかを検討します。

(職員 A)

保護者さんの保険のところでは補足説明ですが、全国町村会総合賠償補償保険とみやき町町民活動保険は別の保険です。全国町村会総合賠償補償保険は、基本的には町の主催事業、町の共催事業のけがに対する補償となっています。みやき町町民活動保険は、町が関わらない、各団体の個別の事業での事故、けが等に対する保険ということで、それぞれ別の保険となっています。全国町村会総合賠償補償保険は、町主催、共催事業に対する保険ですが、社会奉仕活動、ボランティア活動に対しても保険が効くようになっています。また、みやき町町民活動保険も、通学路の立ち当番でも保険が効くようになっていますが、基本的には全国町村会総合賠償補償保険で対応できると思っています。最初に、その名簿登録などの周知が難しいという意見がありましたが、保護者さんの名簿があるかと思っていますので、年度当初にその名簿を提出してもらうことで、個別に申込書を書くとかではなく、各 PTA から名簿をいただければ対応できると思います。例えば途中で転入されて、名簿の提出がない場合もあるかと思いますが、柔軟に対応できますので、基本的には保護者は保険の対応ができると思います。

(中原小学校 PTA A)

名簿から登録と言われていましたが、個人情報がかばわれている時代なので、勝手にできるかどうかということも確認が必要かと思っています。

(職員 A)

最初の名簿を作られる際に、こういう保険に登録するために名簿を提出しますという承認をいただきながら、こちらに名簿をご提供いただけたらと思います。名簿は後から提出しても柔軟に対応できますので、お願いしたいと思います。ただ、祖父母の方となると名簿の提出は難しいと思いますが、随時対応できると思いますので、なるべく保険対応ができるように進めたいと思っています。

(中原小学校 PTA A)

資料はできあがったところで還元していただければ、こちらの方で動きますので、よろしく願いいたします。

(職員 A)

もう一点、どこに申し出て良いかをお尋ねされたかと思います。基本的には、所属する団体の所管課を通じてとなりますので、PTA であれば教育委員会を通じて、届け出をされるとよいと思います。行事を主催する担当部署を通じて、事故報告書等を出してもらうようになりますので、基本的には担当課にご相談いただければと思います。もちろん、分からなければ総務課にお尋ねいただいで構いません。

(中原小学校 PTA A)

多分、分からない方が多いと思います。その時にまず総務課でよいということであれば、皆さんも安心すると思います。

(職員 A)

分かるようであれば、担当課に直接ご相談されると良いと思います。

(中原小学校 PTA A)

わかりました。そこはまたご相談します。

次に移ります。資料には、通学の危険箇所についてのアンケート結果を載せています。タイトルを「通学路の危険箇所についてのアンケート」の結果報告について、サブタイトルを保護者が安心して子どもたちを送り出せる、安全なまちを目指して～みやき町中原校区～としています。2年前の11月に町長と2回目の協議させていただいたときの資料と同じタイトルにしています。2枚目では、サブタイトルの文章の定義を記載しています。保護者としているのは、両親だけでなく地域の人たちも入るのかなと考えています。安全なまちを目指してというところで、交通事故対策、不審者対策、自然災害対策と記載しています。教育長に安全性とは何ですかと聞いたときに、この三つを基本としていると言われていましたので、これをポイントとしています。3枚目はアンケートの概要ですが、5月17日にアンケートを最長子に配布しています。335枚配布した中で86件、

25.7%回収しました。地区名を書いてもらうようにしており、姫方と原古賀の回答数が多い結果でした。その2地区の比重が大きくなっているかもしれませんが、ご了承ください。次が、アンケート集計結果で、大体のカテゴリー分けをしています。道幅と走行車両というところが多くなっています。去年もその前も、ここが突出して多く、小学校の保護者の共通認識かと思います。

ここから各論に入ります。道幅からです。走行車両の関連性が強い項目です。道幅が狭いから、車が危ないというところもあります。側溝に蓋がされていないことから蓋を設置して道幅を広げてほしいとの要望が多数あります。これが114件の保護者からの意見等があり、側溝に蓋をしてほしい、もしくはガードレール等で柵を作ってほしいというものが12件ありました。どこが蓋を設置してなくて危ないのか、子どもが落ちやすいのか、車が危ないのかというような、蓋を設置しないことによって起こる危険はいろいろあると思いますので、こういったところをご検討いただければと思います。

次は、踏切を通る際の車との離合が危険というところでは、小学校に行くときに踏切が2か所ありますが、特に西側の踏切というのは狭く、特に傘をさしていると危ないです。そういったところで、何か対策が打てないかと考えています。もちろん簡単にはいかないとも思っています。また、中学校から西側に進む道の危険性がすごく高いと思います。道幅も狭く、カーブミラーも見にくくなっています。車が1台分しか通らないですが、児童生徒が通学しています。中学生で自転車を押している子もいますが、中学生の自転車のマナーがあまり守られていないように思います。2回ほど大きな事故につながりかねないような現場を見ていて、中学校の校長先生ともお話をしています。次は、中原駅からセブンイレブンに抜ける道についてです。そこのあたりが、7時30分くらいに電車が来る関係で、そこも送りの車が多く、児童の通学と重なっているので、危険性が高いと思います。

続いて、走行車両です。こちらも道幅との関連性が強いと思います。小学校の西側の道路は、見通しがよくて、道幅も広いですが、危険だと認識している保護者は多いです。近くに工場もありますので、通学時間帯は車も多いと思います。今年は、車のマナーを高めていく必要があるというような意見が多くありました。

次は、スクールゾーンについてです。どれだけの町民の方がスクールゾーンというものを認識しているのか、スクールゾーンはどういった定義なのか。また、我々の勉強不足もありますが、スクールゾーンにしたら何でもできると誤解している方も多いいと思います。今後の町政に活かしていただきたいと思います。

次は交差点です。信号機設置の希望が多数あります。風の子保育園の前の交差点は、毎年上がってきます。ただそこは国道34号の信号が近いため、信号設置の指針をみると、条件的には厳しいのかなと思っています。アスタラビスタの南側の旧道の所も町長ともお話して、通学路安全点検でも話が出ましたが、現時点では待機場所の問題などがあると言われていました。南側の土地の買収は、どうなるのかなと期待しつつも、難航しそうだと思っていますので、頑張ってください。

次は見通しです。曲がり角、カーブの見通し、家の壁が高いため、見通しが悪いという所もあります。ミラーも設置されていますが、ミラーが子ども目線なのか、大人目線なのかというところ

で、設置の角度が違ってくると思います。そういったところは、どうしたらいいのかを聞きたいところです。誰をターゲットにするかで、ミラーの角度は変わってくると思うので、ご検討いただきたいと思います。また、車道と歩道の間の草が伸びており、視界を遮っている箇所があるとの意見がありました。県道川久保鳥栖線の所が伸びているという話を聞きます。また、中原中学校の西側の道も草が伸びており、狭くなっています。こういうところは、シルバー人材センターなどを利用して、どうにかできないかなと思っていますが、民地だと勝手にできません。あと、中原中学校の南側の池ですが、ここは不審者が潜みやく、危ないと思います。こういうところを行政代執行で、何とかできないかなと思っています。

(岡町長)

ありがとうございます。総括的なところは、私が言いますので、各担当でお伝えすることがあればお願いします。

(職員 B)

カーブミラーは、新規設置、破損があったときには原則、区長さんから要望を受けて、こちらのほうで設置、改善を行います。職員でできるところは、職員で対応しているところです。住民さんからも度々、見えにくいとか言われることがありますが、あきらかにおかしい場合は、交換したり、改善していますが、なかなか微妙なところがあり、人の見方で変わってくるところがあります。区長さんから書面でいただければ、対応もしやすいですので、よろしくお願いします。

(中原小学校 PTA A)

先ほど区長さんからということではなりましたが、こちらも年に一回は区長さんに挨拶に行っています。昨年のタウンミーティングで、区長さんから意見を出してもらった方がいいと伺いましたので、2回目を回りました。そういうときに、交通安全のために動いてくださいというような感じでお伝えして大丈夫ですか。

(職員 B)

カーブミラーだけでなく、白線の引き直しなどを区長さんからの要望に応じて対応していますので、言っていただいて構わないと思います。

(岡町長)

個別具体的な場所の方が、区長さんも要望しやすいです。私たちも、具体的な方がすぐにできるのか、少し時間がかかるのかを回答しやすいので、各地区の PTA の皆さんや、子どもクラブの皆さんが、各地区の区長さんに個別具体的な場所について相談されても良いと思います。もちろん要望するに当たって、区長さんの中で優先順位はあると思います。ざっくりとした要望だと、私たちもざっくりとした回答しかできませんので、この交差点の白線がどうだとか、この安全対策がど

うだとかいうような要望をしていただいたほうが、私たちも回答しやすいというところもあります。

(職員 C)

通学路については、通学路合同点検というものをやっており、通学路安全推進会議を開催しています。国道管理事務所、県土木事務所、警察署、町関係でいえば、学校教育課、防災安全課、建設課などで、通学路の安全点検を行い、その後の改善をやっていくというものをしています。そこで問題になった分については、担当部署で対応しています。

(中原小学校 PTA A)

そこには前回、参加してお話をさせていただきました。3年サイクルで意見を出して、調査し対応するような流れでされていたと思いますが、3年サイクルが限界なのかなというところがあります。ただ3年となると、小学生は別として中学生は3年しかいないので、要望を伝えて改善されるときには、卒業しているということもあります。

(職員 C)

そのサイクルについては、毎年するのは難しいかもしれません。個別具体的なものについては、区長要望などで対応していただければと思います。

(中原小学校 PTA A)

具体的になるように、区長さんとも連携していきます。私も自分の地区のことは分かりますが、他の地区は分からないので、地区委員さんと一緒に行って、区長さんに具体的な話ができればと思っています。

(職員 B)

他交通安全対策という項目に横断歩道の白線の記載があります。白線の引き直し等は町でできるとお伝えしましたが、警察ができるところと、町ができるところがあり、横断歩道の白線や信号機の設置などは、警察の管轄になります。もちろん、区長さんからの要望は、町で受けて、町から警察に伝えるということで少し時間等もかかることとなりますので、ご了承いただきたいと思います。

(中原小学校 PTA A)

横断歩道の白い部分は警察ですか。

(職員 B)

はい、横断歩道の白い部分は町で引くことはできません。

(中原小学校 PTA A)

2年前の通学路交通安全推進会議のときに、横断歩道の白線の上に塗る緑の線は簡単にできると言われていました。2年前のときに、警察の方も同席されていて、すぐしていただいた記憶があります。

(職員 B)

カラー舗装は町でできます。白線については警察の管轄になります。

(中原小学校 PTA A)

横断歩道は白線のみと、カラー舗装をして白線と緑線にするのは、どちらが良いのかなと思っています。過去にあったのは、塗ることによって滑りやすくなるという意見もありました。どちらが良いのかは区長さんお話しして、連携していきたいと思います。

(岡町長)

私から全体的なお話をさせていただきます。ご理解されていると思いますが、道路と言っても国道、県道、町道があり、いわゆる里道と呼ばれるものも含めて、道路は様々です。道路の役割はエリアによってあります。例えば、西寒水の南北の道は生活道路になっています。国道34号は、みやき町というよりは、佐賀県東部の交通の動脈、もう一つ北側の県道川久保鳥栖線も、同じような役割があるように感じています。それぞれ、管轄が違うのもご存じだと思います。国道34号は直轄国道ですので、国道事務所が管理をしています。同じ国道でも、三根の国道264号は直轄国道ではないので、国道でも管理については佐賀県が行っています。直轄国道以外は、地元の県が管理しており、同じく県道も県の管理です。それ以外の町道は町が管理を行うということになっています。それぞれ対応が違い、国が管理しているもの、県が管理しているものは、町は国や県にお願いするしかありません。先ほどの信号の話も一緒に、あとは県や国に予算があるのかなのか、県であれば20市町からのいろんな要望がある中で、みやき町のこの要望は、他の要望よりも緊急性が高いのかというように、優先順位が決まっていくものと理解しています。もう一つ町道は、町の予算でやっていけるものです。子どもたちの安全性を確保するという意味では、ここで言えば、スピードを出し過ぎているところは、啓発活動というような形で努力はできると思いますが、道幅が狭いとか、交通量が多いとか、インフラとしての対処方法は、一つは道路を拡幅する。もしくは、違うところに新しく道路を作って、その道路自体を旧道にして、交通量を変えてしまうというやり方があります。それと、拡幅は出来ないけど、ところどころに安全带というようなものを設ける。もしくは、歩道を作るというようなやり方があると理解しています。恐らく危険度が高い場所が、優先順位が高い場所だろうと思います。それに対して、予算的にはどうだというような議論をして、少しずつ潰していくしかないと思います。先ほど、アスタラビスタの南のお話が出ました。私も町長になって3年目に入りまして、いろいろ状況も変わり、見方も変わっていきます。今の路線は、南に降りて石井を過ぎて、北茂安エリアに入り右に曲がって、西に向かって寒水川を越えて、

消防署北側のビニールハウスあたりに出てくる計画です。地権者さんの承諾を得られていないところがあるため、なかなか進んでないというような状況です。ただ、私としては、東佐賀病院の横の縦道を旧道にする必要があるのではないかと考えています。恐らく今のルートでは、例えば北茂安から来た人が、消防署の交差点を右に曲がって、もう1回右に曲がって、寒水川をもう一回越えて、左に曲がってアスタラビスタの方に行くかという、中原郵便局に用事がある人は、縦道を真っすぐ行きます。だから、できれば、路線をもう一度考え直して、例えば、真っすぐ北茂安の役場庁舎の道に、連結できるような方法がないのかをもう1回考える必要があります。それが本当に実現できれば、東寒水の縦道の交通量は減らせると考えています。それが、安全対策になっていくのではないかという思いを持っています。とにかく、この道路の役割というのは、安全性を向上させ、利便性を向上させ、それによって地域の活性に繋がっていくことが道路の基本だと思っていますので、私の中では、道路はまちづくりにとって、大事なものだと思っています。それを達成させるためにしっかり安全性を向上させるような新しい道を作っていきたいですし、新しい道を作るのであれば、古い道を旧道にしてしまっ、交通量を減らしていくことをあわせて考えていきたいというのが、全体的なお話です。

(中原小学校 PTA A)

ありがとうございます。続いて、危険回避に移ります。保護者からはスクールバス等の送迎手段を考えてほしいという意見があります。少数ではありますが、こういった意見は、ずっと出てきています。北茂安では、やられていると思っています。上峰町でもやられて、鳥栖でもやられているという情報があります。実際そういったものがありますが、実現が難しいというのは理解しています。上峰町は縦長ですので、やりやすいのかなと思いますが、みやき町は各校区あるので、どの道を通るのかによって、安全性は確保されるかもしれないけれども、すごく早い時間に帰らないといけないとかがあると思います。一本道のような形で運用するなら、すごく多くのバスが必要になります。予算も相当かかりますし、やってみてダメであれば、すぐ止められるものでもないと思います。しかし、児童の安全を守りたい、熱中症から守りたい、交通事故から守りたいという気持ちがあります。それを達成するための手段の一つがバスですが、それ以外の方法を含めて教育委員会で検討していただきたい。児童も増えていきますし、子どもたちを安全に守るため、熱中症から守るため、災害から守るために、何らかの手段を考えていただいて、我々としても知恵を出していきたいと思ったり、町とともに子どもたちを守る何かできればと思っています。今ここで話していることが、10年後の子どもたち、20年後の子どもたちの安全を守るためのきっかけになればと思っています。いい手段があればご検討いただければと思います。

熱中症対策の部分は比較的多くの意見が出ています。他の自治体ですが、中学生が自転車で熱中症になり、亡くなるという痛ましい事故が起っています。本町でも中学生が夏に職場体験で、いろんな事業所を回っていて、熱中症らしき症状がでたという事例を聞いています。熱中症対策をしっかり検討していただきたいと思ったり、小学校関係ではありませんが、中学校の自転車ヘルメットについても、検討していただければなと思ったり。三根中のヘルメットは風通しの良いものにな

っていますし、教育委員会の意見を聞きたいと思っています。

(職員 C)

豆津地区の通学バスですが、豆津地区は私が小学校の頃から、路線バスを使っていました。

(中原小学校 PTA A)

西鉄バスの路線の時間があつたからそこを使わせてもらっているということですか。

(職員 C)

豆津地区は、いわゆる遠距離通学に該当する地区になっています。豆津地区は路線バスが通っているということもあり、使っています。当時は全て保護者負担でやられていました。最近、その分に対しての補助金を出すようになってきているようです。それとヘルメットの件ですが、安全性については問題ないと聞いています。変更していいのかどうかという話ですが、結論から言えば変更しても問題ありません。学校単位で決めていただければと思います。今は 1,500 円を上限にして補助金を町民会議から出していますが、これが個人でそれぞれ買われるということになれば、補助金をどうするか調整が必要です。

(中原小学校 PTA A)

ヘルメットの補助金については聞く機会がありましたが、たしか 3000 円ぐらいですか。

(職員 C)

今のヘルメットが 3,000 円です。

(中原小学校 PTA A)

町の補助が 1,500 円もしくは総額の 2 分の 1 という形であれば、ヘルメットは自由に選んでもいいのかなと思います。穴の空いた熱中症対策のヘルメットでもいいのではないかとということで、自転車屋さんに聞いたところ、穴の開いたものでもいいが、強度がと言われました。安全性の基準は満たしているとは思いますが、変えた直後に問題が起こったときに、責任はどうなるのかという懸念があります。穴が開いていると、雨が降ったときに濡れるから嫌だという意見も聞いたことがあります。穴あきヘルメットは少し高くなると思いますので、補助金はどうなるのか、変更する場合は、全中学生にするのか、そういったところも不公平感がないようにしていただきたいと思います。

(職員 B)

まず、補助金の件ですが、こちらは町の予算というよりも、1 世帯当たり 200 円の交通安全対策費を原資として、小中学生を対象にヘルメットの補助をしています。ヘルメットの種類は、町からこれにしてくださいと言っているわけではなく、先ほど話があったように、変更していただくのは

構いません。皆さんが言われているように、安全性は大丈夫かという問題もありますし、ばらばらに買われると、振り込み手数料が結構かかってきますので、現状の金額での工面が難しくなってきます。ただ、今年4月から、ヘルメット着用が努力義務ということになり、状況も変わってきていますので、改善していく必要があるのかなと思っています。今後、補助金の原資を安全安心の予算とするのか、町の予算とするのかを検討していきたいと思っています。

(岡町長)

通学バスに関しまして、豆津地区は路線バスを使っていますが、三根の方では坂口地区が筑後川の向こう側にありますので、そこについてはコミュニティバスを使っています。そこにプラスして、高校生に対して、通学支援バスを中原駅と吉野ヶ里駅まで送るという事業を行っています。それは安全というよりは、三根の高校受験を控えた中学3年生からのご指摘で、高校を選ぶときに通学が大変で、自転車では通学できないということであれば、三養基高校か神埼高校、または、路線バスに乗って佐賀の方の高校というところで、かなり選択肢が限られるという中において、せめて中原駅まで送ってもらえれば、志望校の選択肢が広がって人生の選択肢が増えるという話から、バスを出そうという話になりました。それで、三根からバスを出すのであれば、北茂安の子も乗れるということで、各所を回って、朝夕にバスを出しています。

通学バスの話になると、中原では山田地区など通学が大変なエリアがあることは、理解しています。そのエリアに対して、三根と一緒にこのエリアもととても遠くて、子どもが歩ける距離ではないというような理屈立てをして、そのエリア限定でという可能性はあるのかなと思いますが、全てのエリア全体でという話になると、やはり財政的などころもありますし、言われたように、やってみただけあまり皆さんが喜ぶようなルートにはならなかったということがあってもいけませんので、慎重な検討が必要だと思います。そもそも町全体として、特に高齢者に対して、買物などの日常の足をどう確保するかという課題がありますので、そういったところとあわせて検討していかなければいけないというのが今の段階だと思っています。

熱中症対策というか、気候変動の話をする、今までは全然違うレベルの暑さになっていますが、行政側も一般の方もそこに追いついてないというのが現状だと思います。熱中症対策でいうと、ヘルメットの話もそうですが、部活動のやり方についても学校の先生たちが現在進行形でマニュアルを改めていると思いますが、それも含めて、異常気象に対応するマニュアル作りは、順次やっていかないといけないと思っています。

(中原小学校 PTA A)

下校時の項目に移ります。熱中症については、先ほどお話しいただきましたので、割愛します。夜間、電灯が設置されていない箇所があり危険だという意見がありました。事例として調べまして、町内全域のLED化をされている自治体がありました。町内全域のLED化をしても、比較的好いようです。交換なども業者もしてくれるそうなので、安全性だけ見るのであればあった方がよいと思います。LED化をご検討いただければと思います。

続いて、その他の交通安全対策に移ります。横断歩道などの白線については、お伝えしましたので、割愛します。一つピンポイントで、中原庁舎東側の歩道の木の根が成長し、盛り上がってしまっていて歩きづらいという意見がありました。私も現状、そこが通学路になっているかどうかは把握できていません。

次に、不審者についてですが、電灯が設置されていない場所、草木が生い茂っている場所、本線から一本入り込んだ路地、その他あらゆるところで、不審者が潜みやすい場所が見られるという意見がありました。東佐賀病院の南東辺りは常に言われている所です。あと、中原庁舎から風の子保育園に行く道も暗いという意見があります。

最後に、災害についてです。今にも崩れそうな家屋が点在しているという意見がありました。全部確認しているわけではありませんが、いろんなどころにあると感じています。地震で崩れてしまいそうなところもありました。今のところ、地震よりも水害対策が喫緊の課題だと思いますが、そういったところも見逃せないと思います。場所は特定できませんでしたが、住宅街の近くの石垣にひびが入っているところがあるという意見がありました。大雨等の自然災害が頻繁に発生するようになり、道路が水に浸かることが増えてきた、水が染み出てくる崖等があり、今後崩壊する危険性があるのではと心配だという意見がありました。あと、場所は分かりませんが、空き地に腐りかけた選挙の看板が立てられたままになっているという意見がありました。また、排水パイプが割れているところがあるという意見もありました。小さいところかもしれませんが、いろいろと危ない所があると思いますので、今後もパトロール等をしながら、対応していただければと思っています。

(職員 B)

防犯灯について、お答えします。防犯灯については、平成 27 年度、28 年度に、町内全域 LED に変えています。新規の設置についても、LED のものを設置していきまして、これも区長さんからの要望に基づいて、設置、改善をしています。

(岡町長)

防犯灯については、そもそも足りているのか、足りてないのか見ていく必要があります。今ある既存の防犯灯は、LED 化していきまして、今後設置する防犯灯も LED で設置します。子どもたちの安全上、ここあったほうがいいのに、ないところについては、区長さんを通じて各地区で要望してもらおう、もしくは書面でまとめて PTA から要望してもらおうと検討していけると思います。

不審者に関しては、そのあとの災害のところもあわせてですが、個別の場所が分からないので、正直なところ、何とも言えません。何故かというところ、民有地の可能性もあるからです。石垣にひびが入っているというのも民地の話でしょうし、そのあとの看板も民有地の話だと思います。建てた人が何とかしないといけません。この排水パイプについても、道路関係を排水パイプであれば、役場ですが、例えば住居の塀から突き出ているような排水パイプのであれば、民有地の話になります。この辺に関しましては、場所のあたりをつけて、区長さんに言っていただければと思います。

これは役場に言うべきか、民有地の所有者に言うべきか、区長さんは分かれると思います。

最後に、空き家です。空き家と言っても危険空き家についてで、みやき町も頭が痛い問題です。簡単に、壊せばいいと思われる住民さんも結構多いのですが、人の財産を行政が取り壊すということですので、かなりの手続きが必要です。自分の家は自分で解体するのが基本です。それを行政が行うということ自体が普通ではありません。何度も何度も催促して、危険だから壊してくださいと言い続けた上で、回答が何もなかったり、壊すような姿勢が見られなかったりしたときに、役場が税金を使ってあなたのかわりに解体しますので、解体した後は、あなたにこの代金を請求しますというのが行政代執行です。それで行政代執行をしても、お金を払ってもらえないことが多いです。行政が危険空き家をどんどん壊せばいい、でも皆さんの税金ですよということです。本来その人が解体しなければいけない、解体費を出さなければいけないのに、皆さんの税金が使われて、その人が払わない可能性がある。その危険性を冒しても、危険だから解体しなければいけないという判断をしながら、年間何件かは行っています。

(中原小学校 PTA A)

税金を使ってやるというのは理解しました。多分今住んでいる方で、将来そういった行政代執行で壊してもらおうと安易に考えてしまう人もいると思うので、これに関してはちょっと、あまりするべきではないと思いました。

(岡町長)

よほど危険な場合はするべきだと思いますが、基本はその所有者がやるべきです。

(中原小学校 PTA A)

既にもう空き家になって、危険空き家になっているということであれば、どうしようもないだろうとは思っています。

(岡町長)

役場の担当は真面目ですので、その所有者さんに連絡をとる行為は、ずっと行います。大体、返答がなかったり、対応されず流されたりします。とにかく自分の財産はマイナスの財産であろうと、プラスの財産であろうと相続して、それを責任持って管理していかなければいけないというような法律づくりは、国の方で進められています。それに沿って、町も進めますし、個人個人が自分のできる範囲で管理していただければと思います。

(中原小学校 PTA A)

一つだけ気になっている案件がありまして、自転車に対しての道路交通法が改正され、来年4月から施行ということです。これに関わってくるのは中学生の自転車のマナーです。これに関して、何か出来ないのかと思っています。我々もいろいろ考えていきますし、町としても考えていただけ

ればと思っています。私からは以上ですが、他になにかあれば。

(中原小学校 PTA B)

一つだけお願いします。子ども 110 番の家は、どういう基準で選ばれているのか、どうやってなれるのかをお聞きしたいです。

(職員 D)

子ども 110 番の家は、学校教育課で行っています。中原校区が 89 か所、北茂安校区が 152 か所、三根校区が 110 か所ほどあります。警察署の方から、110 番をしてもらおう家ということでお願いをしています。これが始まったのが、おそらく合併前です。110 番の家は何をするところなのかということですが、子どもや女性が不審者からの声掛けやストーカーなどで助けを求められているときに、一時的に非難してもらい、110 番をするようにお願いをしています。どのようにしたらいいのかですが、区長さんがこの家は 110 番の家になった方がいいのではないかという要望があったときに追加をしています。鳥栖警察署のほうから、110 番の家をお願い出来ないかいうことを言われていますので、学校教育課から区長さんに説明をしたこともあります。逆に連れ込むような家が出たらどうするなど意見がありましたので、積極的に増やしてはいません。また、現在の 110 番の家も高齢化や空き家になっているところもあると聞いていますので、また警察と打合せを行い、見直しをしながら、110 番の家を増やしていくのがいいのかどうかということも含めて、打合せを行います。

(中原小学校 PTA C)

110 番の家がどこにあるだろう、旗は見たことがあるとは思っていましたが、子どもに対して、ここに逃げてもいいとか、声かけてもいいとかを何も言わないままずっときていました。先ほど言われたとおり高齢化が進んでいますので、ここにあって欲しいという保護者も意見を聞いた上で区長さんに提案できたらと思っています。110 番の家のマニュアルのようなものを作成していただいて、話がスムーズになり、分かりやすくなるだろうと感じました。ありがとうございました。

郡 PTA とも関わっており、その中で、危険箇所の点検を実施していると話したら、やはりどちらも結構様々な問題があるという意見は聞きました。中原の資料を三根の方が参考にしたいということで、お渡しをしています。結局はやり始めると、確かに大変ですので、やるよっていう方がいらっしゃらないとなかなか進まないとは思いますが、町としては、中原 PTA が発信をしているように、三根や北茂安からもそういう声が上がってほしいなどはあるんですか。

(職員 D)

町長が言いましたとおり、地区の中で気になった点は、区長さんのほうに伝えていただいていると思います。その流れは、中原でも北茂安でも三根でも同じです。聞かないと分からないということもあると思いますので、こういう意見交換で勉強していくのは非常にいいと思いました。資料を

作るのは大変だと思いますが、子どものことを考えていらっしゃるのはどこでも同じだと思いますので、ご意見があれば、気軽に伝えていただいて、一緒にいい教育環境を作っていきたいと思えます。

(岡町長)

通学路のところは、教育委員会も連携していきます。先ほどから区長さんに区長さんと言っていますが、全部区長さんにお任せと言うわけではなく、町に直接意見を上げると、区長さんの中には、その話は聞いていないという方もいらっしゃるの、ご要望されるときには、区長さん通じてのほうが、区としての一体感というか、みんなで作っていくという意識が出てくるのかなと思えます。

(中原小学校 PTA D)

山田地区の皆さんにミーティングの話をしたときに、切実にバスのことを言ってありました。子どもたちは6時50分ぐらい家を出ています。帰りも学校の先生からはミニストップまでは歩かせて、後は迎えに来てくださいと言われていて、1人ならいいですが、2人、3人いらっしゃる方もいて、下校時間がばらばらで、負担になっている家庭もあります。だからといって子どもたちに歩いて帰って来るように言っても、遠い子は2.8kmぐらいあります。コミュニティバスの時間も調べましたが、時間が合いませんでした。何かしら、子どもたちの負担が軽くなるようなことを考えていただければと思っています。

(岡町長)

小学生というのは、何人いらっしゃいますか。

(中原小学校 PTA D)

9人です。

(岡町長)

9人ですね。山田が遠いのか、綾部も遠いのか、香田も遠いのかという検証が恐らく必要だと思います。

山田地区が大変だということは小学校の保護者さん分かってあると思いますので、山田は遠いと。では、すぐ一步手前の綾部や香田はどうだとか、もう一つ言うと、ちょっと西のほうにずれた、高柳はどうだとか、どこで線引きするのというところがまずは必要だと思いますし、距離的なものとか、支援の内容とかは、検証をさせていただきたいと思えます。

(中原小学校 PTA A)

通学路の立ち当番で、一部の区長さんから保護者が立っていないというような苦言を言われてい

ることがあるようです。私の子どもが今中学生ですが、小学校に入るときに近くの保護者に聞いたのは、1学期間に1回ぐらいいは立ち当番が回ってきますという話だったのですが、今だと月に2、3回が当たり前になっています。その原因というのは、立ち当番の場所が増えたということ、世帯数が減ったということがあると思います。例えば、我々世代が子どもの頃は、父親が働いて、母親は専業主婦というパターンが多く、祖父母との同居が多かった。ですが、今まではそうではないことの方が多いです。共働きが当たり前ですし、頼る親も近くにいないこともあり、各世帯によって状況が違います。やはりそういった理解がある区長さんもいらっしゃるし、我々世代と常識の考え方が違う方もいらっしゃいますので、どうしようもないところもあります。

(岡町長)

世代間ギャップもそうですし、先ほど申しましたが、気候変動も時代が変わっているというところは認識しております。そこにプラスして、私たちは、みやき町役場、みやき町教育委員会ですので、山田のお話を検討する際には、中原小学校だけでは判断出来ません。みやき町内の4小学校見るときにどうだということ所で判断していきます。そういったところで、検討する時間をいただきたいというのが1番です。

(中原小学校 PTA E)

事前に議題に上げてもらっていないことですが、私の子どもが登校中に学校を前にして、入れなかったようで、失踪しました。そのあと担任の先生は、通学路を私の家まで探してくれて、私も家から学校に向かって探して、結局は見つかりました。他自治体の小学校に子どもが通学している友人に話をしたときに、そちらの小学校では、GPS つきの防犯ブザーを全員が持たせられているということを知りました。そういったものが今回あったら、安心だったなと思うのと、私だけに限らず他の保護者の方も、そういったものがあれば安心なのかなと思いました。

(岡町長)

私の子どもは、学校から防犯ブザーを持たされていますが、GPS は自分で契約しています。キーホルダーのような発信機をランドセルに付けて、無料アプリをダウンロードして、自宅と学校を地図上で指定すると、いつ自宅を出て、いつ学校に着いたのかということが分かります。その発信機の価格が2,980円だったかと思います。そういった情報というのを提供していかなければいけないのかなと思います。施策として全世帯の全ての子どもたちに持たせようということになれば、財政的な話も含めて検討させていただく時間が必要かなと思います。

(中原小学校 PTA C)

香田も山田と同じで6時50分くらいに家を出ていますが、夏だと登校中で汗だくになって、水筒のお茶を飲みますが、学校に着くころには半分くらいに減ってします。コロナ禍もあって、冷水機が使えませんでした。水筒のお茶が無くなれば、水道の水を飲むしかありませんが、水道水に抵抗

がある子どもは飲みません。あとは給食の牛乳を飲むしかない状況です。学校でお茶の補充は難しいと思いますので、子どもの負担を減らしてあげたいという部分でバスなど、何かしらの手段がないかというところはすごく思っています。

学校で子どもの状況は把握されているとは思いますが、全員に目がいくとは限りません。水筒の中身にしても、子どもは自分で飲まなくていいと判断してしまい、水分補給が足りないのではという子どももいらっしゃいます。そういうところは学校と町と相談になりますが、そういう現状です。PTAとして学校によく行きますので、暑いときは大丈夫かなと見ていて思いました。朝の負担が減るとすごく助かると思います。

(中原小学校 PTA A)

ここに来ていただいた方っていうのは町長とお話させていただいて、行政の感覚を感じていただいていると思います。保護者からの意見を我々にいろいろ言っていただきますが、最終的には区長さんに頼らなければならないところが多いということも感覚として、わかっていたと思います。やっぱり、こういった場に来ていただかないことには、区長さんの所に行こうと思っただくことは難しいと思います。この場に来られていない方で、何で区長さんに言わないといけないうのかという方もいらっしゃいますし、区長さんと話したことがないという方もいらっしゃいます。ですので、まずタウンミーティングからかなと思いますので、ご協力をいただければと思っています。

(岡町長)

タウンミーティングは総務課が中心になってしていますが、私がタウンミーティングをしたいという思いは、地域の皆さんの困り事や思いは、コミュニケーションをとらないと、なかなか分からないということがありましたので、手を挙げてくれる人と、こういう場を継続して持っていきたいと思っています。役員さんが変わられる時にも、こういう場があるということを引き継いでいただいて、タウンミーティングに来てほしいと町長が言っていたとお伝えいただければと思います。

(中原小学校 PTA F)

こういう貴重な機会をいただいたことは、本当にありがたいと思っただけで、PTAの皆さんがいろいろな問題意識を持って考えていくことは大事だと思っています。こうやってまとまってやっていくというのは中原のいいところだと思います。これからも一緒に問題があれば、どうすればいいのかを考えていきたいと思っています。

(中原小学校 PTA G)

私も区長さんを通してから、その先につながるっていうのは理解をしていますが、先ほどもありましたように、どうしても区長さんと話したことがなかったり、連絡先を知らない、どうやってコミュニケーションをとったらいいか分からないというのは、私たちのできる範囲で、区長さんと連

絡をとっている方に話してくださいということではできると思います。先ほど町長が言われたように、こういうタウンミーティングの話ができれば、こんどは地区単位でやりたいとか、そういうこともできると言われていましたという話をしたいと改めて思いました。お時間つくっていただき、ありがとうございました。

(事務局)

これもちまして、タウンミーティングを終了したいと思います。ありがとうございました。